



2024年8月15日

各位

会社名 株式会社 グリッド
代表者名 代表取締役社長 曾我部 完
(コード番号：5582 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 渋谷 淳一
(TEL 03-5468-8800)

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、2024年8月15日開催の取締役会において、下記のとおり、新たな事業を開始することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、「INFRASTRUCTURE+LIFE+INNOVATION」(インフラライフイノベーション)を企業理念と定め、社会インフラにイノベーションを起こし、インフラ全体の最適化を目指し、社会に貢献することをミッションに活動しております。これまで、電力・エネルギー分野、物流・サプライチェーン分野、都市交通・スマートシティ分野の社会インフラ3分野に注力し計画最適化システムの提供をしてまいりました。

今回、当社の持つ社会インフラ分野における計画最適化のノウハウを活かし、新たに蓄電池事業に参入することを決議いたしました。

蓄電池は、脱炭素化社会の実現に向けて太陽光などの再生可能エネルギーの導入が加速する中で、再生可能エネルギーの出力変動に対応するための調整力としても、その活用が期待されています。当社は、蓄電池の活用において不可欠となる蓄電池制御最適化エンジン「ReNom Charge」を開発してまいりました。(添付資料参照)

しかしながら、蓄電池制御最適化エンジンの開発に留まらず、これを搭載した蓄電池の販売や蓄電所の開発も併せて手掛けることで、付加価値の高い蓄電所の開発とその後の運用サポートサービスを提供することができると判断し、蓄電池事業に参入することといたしました。蓄電池事業に関しては、電力・エネルギー分野や都市交通・スマートシティ分野における計画最適化と親和性が高いほか、将来的に多様な収益構造のもとでの事業展開も見込むことができ、当社の事業基盤拡大と、企業価値の向上に資するものと考えております。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

蓄電池の販売、蓄電所の開発、制御システムの提供、制御システムの運用サポートサービスの提供を行います。蓄電池を調達した上で、周辺機器および電力系統への接続を含めた蓄電所開発を行うとともに、当該蓄電池による充放電計画を最適化する制御システム(ReNom Charge)を提供いたします。

- (2) 当該事業を担当する部門
事業開発部

- (3) 当該事業開始のために特別に支出する金額および内容

当該事業の開始にあたり、研究開発や設備投資等の特別な費用の支出は見込んでおりません。一方で、事業遂行の過程において蓄電池の調達および蓄電所開発に要する費用の支出が見込まれますが、具体的な金額については現時点では未定であり、今後開示の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。なお、蓄電池制御最適化エンジン「ReNom Charge」の開発費用は、既存の事業運営および研究開発活動として費用計上されております。

3. 日程

- (1) 取締役会決議日 2024年8月15日
(2) 事業開始日 2024年8月15日

4. 今後の見通し

今期の業績に与える影響は精査中ではありますが、合理的な算定が可能となり、重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示いたします。なお、蓄電池事業の開始による影響については、2025年6月期通期業績予想（2024年8月14日公表・決算短信に記載）に織り込んでおりません。

5. 添付資料

2023年11月2日付「『ReNom Charge』開発開始のお知らせ」

以上

各位

2023年11月2日
株式会社グリッド
(コード番号：5582 東証グロース市場)

「ReNom Charge」開発開始のお知らせ

～AIを活用した蓄電池制御最適化～

株式会社グリッド（代表取締役社長：曾我部完、本社：東京都港区、以下：グリッド）は、社会インフラ特化型 SaaS「ReNom Apps for Industry SaaS」に、新たに「ReNom Charge」を追加すべく開発を開始したことを、お知らせいたします。「ReNom APPS for Industry SaaS」は電力・海運・サプライチェーン・鉄道 4 分野のオペレーション最適化を実現する社会インフラ特化型 SaaS であり、今回新たに追加される「ReNom Charge」は蓄電池制御を起点に GX を推進するエネルギーソリューションです。

これまでグリッドは、社会インフラ分野を対象に最適化 AI とデジタルツインを活用した計画業務の自動化・最適化システムの開発を行っており、これまで数々の社会インフラ企業においてエネルギー削減及び CO2 排出量の削減に貢献してまいりました。

昨今、脱炭素化社会の実現に向けて太陽光など再生可能エネルギーの導入が加速する中で、GX として再生可能エネルギーを有効活用できる蓄電池の需要が高まっています。特に、電力システムに接続する蓄電池は、市場取引による収益化や、自社の工場、オフィスでの需要ピーク時に放電することによるエネルギーコスト及び CO2 排出量の削減を可能とします。しかし、収益最大化や CO2 排出量最小化を達成するためには、再エネ発電量や電力需要、市場価格などの予測データをもとに複雑な分析を行い、最適な充放電計画を立案する必要があります。また、それぞれの予測データに予測誤差は必ず生じるため、精度の高いシナリオを策定することは難しく、蓄電池の効果的な運用には課題があります。

そこで、このような課題を解決し GX をより効果的に推進するために、グリッドはこれまでの電力会社との様々な取組みを通じて蓄積した AI 開発ノウハウを活かし、予測の変動リスクも考慮した最適な充放電計画を立案する蓄電池制御最適化エンジンとして「ReNom Charge」を開発します。本ソリューションでは、AI が複数の再エネ発電や市場価格予測シナリオの中から変動リスクを確率的に計算し、収益最大化や CO2 最小化などの目的に沿って最適化された充放電計画を自動立案します。これにより、市場取引による収益向上や、ピークカットによるエネルギーコストと CO2 排出量の削減を実現する蓄電池の運用が可能と

なります。さらに「ReNom Charge」は、充放電計画を立案するエンジンに特化しており、蓄電池の制御や取引システムなどの外部システムに連携することで蓄電池運転制御を可能とし、蓄電池の効率的な運用を行うことができます。

すでに、データ検証において効果的な運用ができることを確認しており、今後は蓄電池を活用したい事業者やエネルギー関連の新規事業に取り組みたい事業者との協業を通して実運用を目指してまいります。また、新たに蓄電池事業に参入する事業者や再エネと蓄電池を組み合わせより効果的なエネルギー運用を行いたい事業者向けに、事業者の環境に合わせた蓄電池の選定から各種システム導入まで一貫した開発も視野に入れており、事業者の最適な導入に寄与します。

グリッドは、「ReNom Charge」によって、電力の安定化のみならず企業の収益性と脱炭素化の両立を実現し、GX 推進に貢献してまいります。

以上

(「ReNom Charge」イメージ図)

